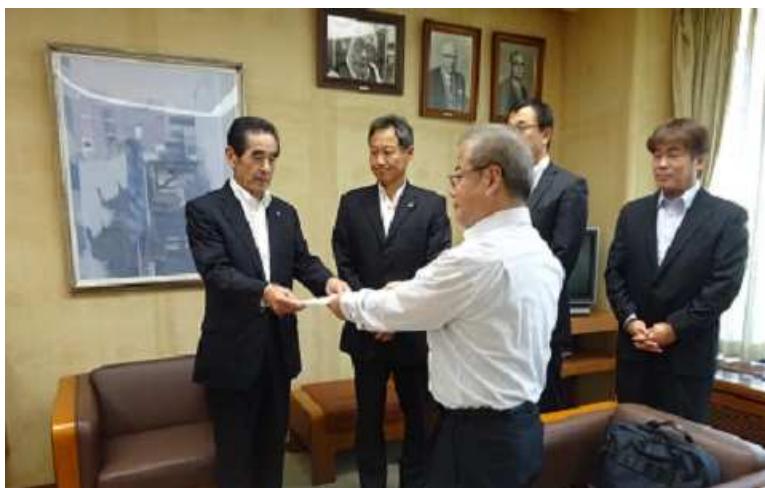


# 小笠南地区労福協ニュース

小笠南地区労福協事務局  
掛川市大坂 526  
TEL 28-9566/FAX 28-9567  
2018-3号  
2018年10月19日（金）

## 御前崎市長へ行政要望提出

10月9（月）柳澤御前崎市長との面談



柳澤市長に大変お忙しい中お時間をいただき、東遠地域労福協による御前崎市への行政要望として以下の4点を提案いたしました。（山本東遠地域会長ほか小笠南地区沖宗会長・菅副会長・森田事務局長・白方事務局次長）

1. 労福協への補助金について
  - ・労福協の活動を報告するとともに、引き続き補助金の助成要望を行いました。
2. 勤労者住宅・教育資金貸付利子補給制度の利用枠拡充について
  - ・有利な利子補給制度の利用が定住化政策にもつながることを説明して、市民への周知（広報等）を要請しました。
  - ・教育ローンチラシ1000部を御前崎市回覧板にて案内いただく事を報告しました。
3. ライフサポートセンター活動への協力について
  - ・「暮らし何でも相談」の広報誌等への掲載を要請しました。
4. NPO「フードバンクふじのくに」への支援および周知取組について
  - ①食料支援について
    - ・危機管理課を通じて1950食の寄贈についてお礼をするとともに来年度以降の継続也要請しました。
  - ②広報等の支援および周知取組について
    - ・広報等へのフードドライブの周知を要請しました。

裏面につづきあり

### ◆要望事項に対する市長の考え方一部ご紹介

- ・現在の御前崎市人口 29,000 人が 2045 年には 20,000 人に減少することが見込まれている。高齢者が増えて労働人口は減ることも想定される。子供たちは大学卒業後に地元へ戻らないケースが多い。市役所職員の募集に対して地元高校生が応募してくれない。市役所と地元企業が一体となり雇用を増やして人口減少に歯止めをかけたい。そのために労福協とも協力していくたい
- ・教育資金として御前崎市は月 5 万円×4 年間の奨学金制度があり、20 名程度が利用しているが認知度は低い。教育ローンの利子補給制度は他の市町より低金利であるが市民に知られていない。良い制度を広く知っていただく取組が必要と感じる。

### ◆その他市長との懇談より

- ・労福協より、12 月に列島クリーンキャンペーンで、御前崎市内を清掃するが、行政側でごみの回収をお願いした旨の話をしたところ、前向きに検討いただけたこととなりました。

## ソフトボール大会中止のお知らせ

10 月 20 日（土）に予定していましたソフトボール大会について、先日の台風 24 号の影響によりグラウンドが使用不能となり中止となりました。参加申込いただきました各会員のみなさまにお詫び申し上げます。

### 今後の行事・募集等のお知らせ

#### 11 月の主な行事

##### 「資産運用セミナー」

日時 11 月 10 日（土）9 時 30 分より

場所 大東市民交流センター

※申し込みはろうきん小笠支店

##### 「労働文化講演会」

日時 11 月 13 日（火）18 時 30 分より

講師 池田 清彦氏

場所 アエル

※チケットは各会員配布済み。不足の場合は  
ろうきん小笠支店へ

#### 12 月以降の主な行事

##### 「年末ショッピングツアー」

日時 12 月 15 日（土）

費用 4,500 円

場所 日本海さかな街・土岐アウトレット

※募集受付を 11/5 より開始します。

定員に限りがあります。

##### 「ボーリング大会」

日時 1 月 30 日（水）

場所 浜岡グランドボウル

※詳細は後日案内



一人は万人のために、万人は一人のために